

衣食住とくらし



# 目次

口 絵

刊行のことば

上田市誌刊行会長

上田市長 平尾 哲男

監修のことば

東京大学名誉教授・前国立歴史民俗博物館長 石井 進

まえがき

凡 例

## 第一章 衣生活

第一節 野良着…………… 3

一 男性の野良着…………… 4

上衣 下衣 かぶりものと履物

二 女性の野良着…………… 6

上衣 下衣

三 手甲…………… 7

男性の手甲 女性の手甲

四 かぶりもの…………… 8

菅笠 麦藁帽子に手ぬぐい 野良仕事と手ぬぐい アネサンカブリ

第二節 晴れ着	11
一 赤子の晴れ着	11
産着	
お宮参りに着るもの	
二年祝いの着物	13
七五三の祝い	
成人式	
賀寿の祝い	
三 嫁入りの支度	14
嫁入り支度とかぶりもの	
戦時中の結婚式	
花嫁の支度と招待客の服装	
四 葬式の支度	16
喪服	
葬式のかぶりもの	
棺付きの人の履物	
第三節 履物と脚支度	17
一 草鞋	18
草鞋と甲かけ	
二 草履	18
日常生活の草履	
三 はばき	19
四 藁沓	19
味噌つくりと藁沓	
五 かんじき	20
六 下駄	20
高級品からふだん履まで	
七 足袋	21

第四節 布地

一 機織り

木綿織

紬織

機織り機

22

二 染色と保存

草木染

衣類の保存

23

三 裁縫と洗濯

縫い物と繕い物

たらいで洗濯

和服の洗い張り

24

第二章 食生活

第一節 食料

一 主食料

米飯

麦飯

混ぜご飯

米不足の備え

29

二 副食料

魚介類

山菜や野草

昆虫や野生動物

野生のものよさ

土地独特の食べ物

32

第二節 貯蔵

一 穀類

米の貯蔵法

米以外の穀類の貯蔵

36

二 野菜

野菜の保存方法

漬物

野沢菜漬

37

第三節 加工食品	40
----------	----

甘酒の思い出 納豆の効能 豆腐づくり 凍らせた食べもの

第四節 調味料	42
---------	----

一 味噌	42
------	----

原料の割合 塩の割合 仕込み量 味噌の仕込み方 悪くしないためには  
使い始めはいつから

二 醤油	45
------	----

仕込み方

三 塩	46
-----	----

塩の種類 塩の使いみち

四 甘味料	47
-------	----

甘味料として使ったもの 白砂糖

五 香辛料	48
-------	----

自給で使った香辛料

六 出し汁	48
-------	----

第五節 食品	49
--------	----

一 粉食	49
------	----

煮て食べる ゆでるもの 焼くもの むす・ふかすもの 炒るもの

二 間食	51
------	----

田植えのとき 取り入れのとき 山仕事のとき

三	特別な日の食べ物	52
	年取り魚	
	正月三が日の食べ物	
	婚礼につきものの食べ物	
	不幸のときの食べ物	
	餅・団子・赤飯を作るとき	
	こだわりの食事	
第六節	食制	55
一	食事のとき	55
	食事の場所	
	家族の座席の順序	
	食べ物を取りまわす順序	
二	食事の作法	56
	主に躰けた人	
	躰けられたこと	
	初物を食べるとき	
三	神棚への供え物	57
	ふだんの供え物	
	特別なとき	
四	仏壇への供え物	58
	ふだんの供え物	
	特別な日の供え物	
	供え物の後始末	
五	食べ合わせ	59
六	日による禁忌	60
	種を蒔くとき	
	初物を収穫するとき	
	味噌を仕込むとき	
	味噌の口を開けるとき	
	年の暮の餅搗き	
	日常生活の中での禁忌	
第七節	食具と飲み水	64
一	食器と調理器具	64
	ふだん使う食器	
	箱膳と食卓	
	調理器具の昔と今	
	食品をすりつぶす道具	
	粉をこねる道具	
	食料を炒る道具	
二	飲み水	66

### 第三章 住生活

飲み水の確保 水道はいつから使われたか

#### 第一節 屋敷

一 屋敷の選定

好ましい屋敷地 避けたい屋敷地

二 屋敷の入口と庭

ケダシ 庭(露地)

三 前栽畑

四 庭に植える木、植えない木

植えてよい木 植えられない木

#### 第二節 屋敷内の建物

一 土蔵

土蔵の役割り 土蔵のつくり マチの土蔵

二 物置(納屋)

#### 第三節 母屋

一 母屋の呼び名と間取り

母屋の広さ 間取り 座敷と茶の間

二 屋根

三	茅葺き 板葺き 瓦葺き トタン葺き	83
三	母屋への入口と土間	83
	母屋への入口 土間	83
四	勝手と囲炉裏	84
	勝手 囲炉裏	84
五	かまど	85
	かまど	85
六	茶の間・座敷・寝間	86
	茶の間 座敷 寝間 セイジの間 店	86
七	蚕室	87
	蚕室 居間も蚕室に 二階の蚕室 蚕室の変化	87
八	馬屋	89
九	風呂	90
	セイフロ(据え風呂) もらい風呂	90
十	便所	91
	外便所 便所の位置	91
第四節 水と明かり		
一	水	93
	清水 井戸水 上水道	93
二	明かり	95
	行灯やランプ 電灯	95
三	発火具	96



# 第四章 生産・生業

## 第一節 稲作

一	種籾取り	111
	種籾取り	111
	脱穀と保存	111
二	苗作り	112
	苗代と苗取り	112
三	田起こしと代かき	113
	田起こし	113
	踏み込み	113
	代かき	113
四	田植え	114
	田植え	114
五	用水・水利	116
	池と堰	116
	水利役	116
	代かき前の水入れ	116
	夜水・役水・通し水	116
	大水・豪雨	116
	雨乞い	116
六	田の草取り	120
	田の草取り	120
	雀追い	120
七	稲刈り・脱穀	121
	稲刈り	121
	脱穀	121
八	籾すり・精米	123
	籾すり	123
	精米	123

目次	125
第二節 田の裏作と畑作	125
一 麦作	125
裏作がなされた水田	
裏作として作った作物	
田麦作り	
畑麦	
麦の脱穀	
二 畑作物	127
戦前の畑作物	
戦時中の畑作物	
野菜	
たばこ	
薬用人参	
花卉	
ホップ	

第三節 養蚕	130
--------	-----

一 蚕の一生	131
蚕種から繭まで	
種屋の蚕	

二 蚕種	131
蚕種の買入先	
蚕種の保存	

三 蚕の飼育	133
蚕の飼育全般	
掃き立て	
稚蚕共同飼育所	
三齢から庭おき	
上蔭	
繭かき	
蚕影さま	

四 繭の販売	137
繭の販売先	
二番繭	

五 蚕種業	138
蚕種業者数	
蚕種用蚕の飼育	
鑑別	
分場	
種付け	
蚕種の保存	
蚕種の販売	

出殻繭

六 桑畑	141
桑畑の手入れ	
桑畑の昨今	

七 蚕手伝い	142
蚕手伝い	
種屋での手伝い	

八 屑繭の利用……………142

真綿・紬 糸取り・機織り

第四節 果樹・家畜……………143

一 果樹……………143

りんご ぶどう 梨・桃 柿・梅・くるみ

二 家畜……………146

馬 役牛 乳牛 山羊・綿羊 豚 鶏・うさぎ

第五節 山や冬の仕事……………149

一 炭焼き……………150

白炭 黒炭 消し炭

二 薪取り……………152

薪とボヤ サデさらい

三 冬の仕事……………153

藁細工 竹細工 凍み豆腐 縫い物 串柿作り 土木作業 漁業

第六節 手工業……………156

一 瓦屋……………156

粘土とり 瓦ができるまで 屋根ふきと販売 職人 新しい瓦

二 畳屋……………160

藁の確保 畳床づくり 畳表 畳の縁 畳表取り付け材料 畳づくりの道具

手当て 畳の敷き方 畳の表替え

三	桶屋	桶のいろいろ	桶の材料	桶ができるまで	桶つくりの道具	お客の範囲	桶と生活	164		
四	染物屋	反物	染め上がりまで	染物屋と下職	染色業の移り変わり			167		
五	紋屋	修業のとき	紋のいろいろ	仕事の手順	道具	新しい感覚		170		
六	鍛冶屋	造ったもの	鎌造り	仕事場と道具	鍛冶屋の生活			172		
	第七節 商業							176		
一	ムラの店							176		
二	マチの店							177		
三	ムラとマチの結びつき	上田のえびす講						178		
四	商店のようす	(1) 綿・綿糸・反物	店構え	売り方	初荷	丸源のえびす講	出張販売	商品の運搬	179	
		(2) 洋服屋	店の移り変わり	紳士服の規格	洋服の流行	客の範囲			181	
		(3) 魚屋	店のようす	売れた魚	仕入れ先	仕入れ方法	高い	包丁	魚商組合	183
		(4) 菓子屋	一こ五円の和菓子	菓子の季節感	引き出物	もなか(最中)	技術の伝承		187	

(5) 金物屋……………189

仕入れ先 お客と売り出し 商店街の近代化

(6) 荒物屋……………191

塩の販売 荒物 麴 十銭ストアー 日用品雑貨 荒物屋のえびす講

## 第五章 交通・交易

第一節 交通……………198

一 道……………198

道のいろいろな呼称 樺の下の大六の道 別所北向観音と温泉への道 分岐点と道標

二 田畑への道……………201

赤線は耕作の道 道普請はムラ人の手で

三 旅……………202

講における代参

第二節 通信……………204

一 口頭での連絡……………204

触れ 告げ 有線放送 スピーカー(拡声器)

二 文書での連絡……………205

揭示場(昔は高札場) 回覧板 ちらし広告

三 音響での連絡……………205

口笛 拍子木 太鼓に鐘・振鈴 花火 サイレン

第三節 運搬

..... 206

一人の力で運ぶ

..... 207

背負子で運ぶ

マタッポ（イキツエ）を使う

休み石でひと休み

便利な朝鮮背負子

担いで運ぶ

二 畜力で運ぶ

..... 209

荷馬

畜力で耕し物を運ぶ

第四節 交易

..... 211

一行商

..... 211

小間物屋と富山の葉屋

季節による行商

付け木と蚕種

二 仲買い

..... 212

三 勘定と取引

..... 213

執筆分担

表紙絵・挿絵

資料提供協力者

あとがき

参考文献

上田市誌の編さん組織

表紙絵

囲炉裏いろりを囲んで

裏表紙絵

（浦里 岡）繭かき

矢崎重信氏画『信濃の子供』から

（昭和十八年 上田市立塩尻小学校蔵）

上田市誌 民俗編(2)

# 衣食住とくらし

発行 平成十三年三月一日

編集者 上田市誌編さん委員会

発行者 上田市

上田市誌刊行会

上田市大手一―一―一六

電話 〇二六八―三二―四一〇〇

印刷所 信毎書籍印刷株式会社

長野市西和田四七〇